

授業科目(ナンバリング)	スポーツ実習C(キャンプ実習) (AB105)			担当教員	元嶋 菜美香・宮本 彩・神野周太郎		
展開方法	実技	単位数	1単位	開講年次・時期	1年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
日頃の運動不足を解消し、個々の健康や体力の維持・増進をはかり、さらには、身体を動かすことによるストレスの解消(リフレッシュ)を目的とする。また、技能の向上をはかるとともに、協調性やリーダーシップといった社会性を養う。スポーツ実習Cでは更に、生涯にわたってスポーツの楽しさを楽しむ能力を高め、自己のライフステージや心身の状態に適したスポーツを生活に取り入れ、豊かなライフスタイルを形成できる能力を身につけることを目的とする。							②④⑤⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	授業に参加するだけでなく、他者と協力し積極的に取り組むことができる。 授業で行う活動のルールを理解し、必要な技術を習得することができる。				授業態度・授業への参加度 技術習得度・ルールの理解	40% 30%	
多様性理解力	集団生活を通して、豊かな人間関係、社会性を築くことができる。 自然への興味や関心を高めることができる。				授業態度 授業への参加度	20% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業態度・授業への参加度を通して積極性をみる(40%)と共に、授業で行う種目のルールの理解度および必要な技術の習得度(30%)を評価基準とする。また、自然への興味や関心を高められたか(10%)、集団生活を通して豊かな人間関係や社会性を築けたか(20%)についても、授業態度・授業への参加度を通して評価基準とする。</p> <p>技術の習得度・ルールの理解については、実習中に口頭でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>9月に国立大洲青年の家(愛媛県)にて4泊5日でキャンプを行う。具体的には、リバーカヌー、クライミング(ボルダリング)、クラフトワーク、野外炊飯、キャンプファイヤー等のプログラムを行う予定である。</p> <p>班ごとに飯盒炊飯やスタンツなどのグループワークを行う予定である。</p> <p>学生負担の諸経費の概算: ¥28,000(交通費、宿泊費、食費、保険料等を含む)</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書: 使用しない。</p> <p>参考書: キャンプ指導者入門(日本キャンプ協会, 2008: 公益社団法人日本キャンプ協会)</p> <p>指定図書: みんなで楽しむキャンプファイヤーの進め方(巡, 2011: 黎明書房)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業に興味を持ち、積極的に質問や意見をしてほしい。授業で行った内容を一つでも修得し、今後の生活に役立ててほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス① (4月)	授業の内容・展開方法、評価の方法等に関する説明	予習：シラバスに目を通しておく。
2	ガイダンス② (7月)		
3	学外実習① (1日目午後)	開講式・オリエンテーション	復習：実習日程について確認しておく。
4	学外実習② (1日目夜)	野外炊飯①	予習：飯盒の使い方、火のおこし方について調べておく
5	学外実習③ (2日目午前)	選択アクティビティ	予習：選択した野外活動について調べる。
6	学外実習④ (2日目午後)	カヌー①（実技）	復習：カヤックに用いる道具の名称等を確認すると共に、パドリング等のカヤックに必要な基礎技術について、確認する。
7	学外実習⑤ (2日目夜)	野外炊飯②	予習：調理の方法、火のおこし方について調べておく。
8	学外実習⑥ (3日目午前)	クラフト	復習：時間内に作品が完成しなかった学生は、空き時間を用いて作品を完成させる。
9	学外実習⑦ (3日目午後)	カヌー②（実技）	復習：佐世保周辺でカヌー（カヤック）が可能な社会資源の有無について調べる。
10	学外実習⑧ (3日目夜)	カヌー③（講習）	復習：ツーリングのコースについて、確認する。
11	学外実習⑨ (4日目午前・午後)	カヌー④（ツーリング）	予習：ツーリングのコースおよびパドリング等のカヤックに必要な基礎技術について、確認する。
12	学外実習⑩ (4日目夜)	キャンプファイアー	予習：各班でスタンツの練習を行う。
13	学外実習⑪ (5日目午前)	野外炊飯③	予習：調理の方法、火のおこし方について調べておく。
14	学外実習⑫ (5日目午後)	閉講式	復習：実習を通して学んだ知識や修得した技能を確認する。
15	事後指導	実習の振り返り	復習：実習を通して学んだ知識や修得した技能を確認する。